

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 えがの教室		
○保護者評価実施期間	2024年12月13日		2024年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2002412/13		2024年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの事を十分に理解した専門性(保育士)の高い職員を配置し、情報共有し、チームで支援しています。	子どもの特性を理解・共感し、保護者と子どもの状況や課題を伝え合い、支援しております。	今後、子ども一人ひとりの特性を理解し、健康に生活し、様々な場面においても人間関係や社会性を身に着けられるように保護者・職員と情報共有し、成長を見守っていきけるように努めてまいります。
2	個々の子どもの状況を把握し、自己選択し、意思決定できるように一人ひとりに応じた支援をしております。	一人ひとりの話を傾聴し、自己選択できるように日々の活動の中において支援しております。	子どもが自己決定でき、行動できるような環境作りにさらに努めてまいります。
3	毎日ご本人が安心して楽しく活動でき、保護者の方が安心して預けることができるように、支援しております。	生活空間における安全面や衛生面等においては、十分に気を付け、活動内容に合わせた配慮等を行っております。	ご本人や保護者の方が安心してご利用できるように、障害特性により様々な場面を想定しながら、支援できるように努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等が設置されていないため、保護者間の活動の場等がなく、交流はできていません。	保護者の方の多くは、仕事をしていてそれぞれの時間が合わないこともあるとお聞きしているため、開催が難しいと考えていました。	今後、保護者の皆様のニーズ等をお聞きし、必要に応じて交流会等を開催していくことも考えていくことも必要だと考えています。
2	児童クラブや児童館との交流や地域の子どもの交流や事業所の行事に地域住民を招待する等はできていません。	放課後の決まった時間のご利用のため、地域の子どもの交流や地域住民への声掛け等は、難しいと考えていました。	ご本人やご家族のご意見等をお聞きしながら、地域の方や子どもたちなど様々な人がお互いに尊重し合い、各々の特性を生かして一人ひとりが活躍できるように交流の場を設けることも必要だと考えております。
3	保護者との面談や相談の中で関わり方や対応について、共に考え、意見交換していますが、家族等が参加できる研修を行っていません。	父母の会の設置がなく、保護者全体へのペアレント・トレーニングや研修会等は難しいと考えていました。	家族が参加できる研修の情報提供等は、行っていますが、ペアトレ等の内容をお伝えできるように努めてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス事業所 えがの教室

公表日 令和7年2月5日

利用児童数 17人

回収数 12人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	8	3	1			こどもの成長により、スペースの確保が難しい時もありますが、できる限り、安全に活動できるように努めています。
	2	7		1	4	・子供は、おやつと一緒に食べた いけど生徒の人数が多くて見られないみたいで、職員数を増やしたらと思います。 ・すみません。何人いるのかわかっていません。	基準以上の人員を配置し、専門職(保育士)を配置し、支援を行っております。
	3	8	2	1	1		ブレイルームや学習室等、子どもたちがわかりやすいような環境を整備し、個々の障害特性に応じた配慮もできる環境づくりに努めております。
	4	9	1	1	1		子どもたちの活動に合わせた空間づくりに努めております。
適切な支援の提供	5	10	1		1	・子供の性格を理解して上手く対応してくださり、有難く思います。	子どもの個々の特性を全職員が把握し、専門的な視点から支援を行っております。
	6	6	3		3		支援プログラムと提供する支援内容が、合うように努めております。
	7	10	2				子どもの事を理解し、課題を分析した上で個別支援計画の作成に努めております。
	8	11	1				子どもの支援に必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容の設定に努めております。
	9	10	2				放課後等デイサービス計画に沿った支援ができるように努めております。
	10	8	1		3		こどもの発達状況や障害特性等に応じて柔軟に組み合わせる支援できるように努めております。
	11	4	1	2	5		現在は、交流の機会はありますが、今後は、ご本人や保護者の方と地域のニーズも確認しながら、交流できればと思います。
	12	9	3				最初の利用説明時には、規程・支援内容・利用者負担等の丁寧な説明に努めております。
	13	9	2				放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明することに努めております。
	14	4	2	2	4		家族へのペアレント・トレーニングはできていませんが、家族が参加できる研修会の情報等の提供には努めております。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	1	1		提供記録や口頭により、日々の子どもの活動内容や状況を伝え、保護者との共通理解に努めております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2	2	1	モニタリング以外でも面談や相談等がある時は、対応できるように努めております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	2			共感的な支援ができるように努めております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	5	4	・働いている保護者さんが多いと思うので、難しいと思いますが、保護者のお話会等があると嬉しいなと思います。 父母の会は設けられていませんが、地域の人権擁護委員会の方たちときょうだい同士の交流でプランターの花植え等のイベントに参加できる機会を設けております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1	1	2	苦情受付体制を整備し、窓口担当等については、事業所内に掲示、その他の相談等についても日々の支援の中で迅速に対応できるように努めております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	2			利用時の提供記録等を活用し、保護者との意思の疎通や情報伝達等に努めております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	3	1	2	定期的にえがお通信を発行し、写真で子どもの活動内容がわかるように努めております。また、自己評価結果は、保護者の方に文書で報告し、ホームページでも発信しております。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1		2	個人情報については、十分に気を付けております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5		1	6	対応マニュアルは、誰でも見やすいように玄関に設置しています。また、火災や地震等を想定した訓練も実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		6	火災や地震発生を想定し、避難訓練を実施しています。また、消防署見学を実施し、防災意識を高めています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	3		1	支援中は、自動ドアや出入口のを施錠し、突発的な行動に対しても安全が確保できるように努めております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	3		3	緊急時には、速やかに連絡を入れ、保護者に状況説明をする等の対応に努めております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1			・毎日リラックスしている様です。 安全で安心して利用できるように努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1			・短期のお預かりですが、いつも楽しそうに帰宅する姿を見ると、安心します。いつもありがとうございます。 ・支援員さんに話を聞いてもらうのが、とても嬉しいようです。 一人ひとりに応じた支援を心掛け、楽しく過ごしていただけるように努めております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1	1		・助かっています。有難いです。 ・感染症が理由で施設を利用できないことがあり、衛生面や健康管理面で大いに不安がある。 感染症予防のため、日々、衛生面には十分に気を付け、支援しております。今後も引き続き、満足いただけるように努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス事業所 えがおの教室		令和7年2月5日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用時間が個々の子どもにより異なっていたり、活動内容が様々なので、各スペース（ホール・学習室等）を工夫しながら対応しております。	個別や集団等、活動により、スペースを適切に使用できるように対応に努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		国の基準以上に適切に配置し、保育士や教員免許等の専門的な視点を持った職員が支援を行っております。長期休暇には、通常より支援員を増員して、適切な支援に努めております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		生活空間の改修等が難しく、バリアフリー化はされていますが、障害特性に応じた視覚支援が少ないと思われます。今後は、さらに子どもにわかりやすい環境にするように努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々、消毒・掃除等を行い、清潔で心地よく過ごせる環境作りに努めております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別に対応できる環境になっております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		全員が参画してはいないため、広く職員が参画できる機会を増やしていけるように努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価等を保護者に報告し、公表すると同時に職員全員で内容等の把握を行い、業務改善に繋がっています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		自己評価アンケート実施やミーティング等において意見交換等を実施し、日々の業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行ってないため、今後は、第三者評価も取り入れていくことも検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			講師に来所してもらい、研修をしたり、法人内での研修会は実施されています。事業所の全職員が参加できる研修回数が少ないため、オンライン等のツールも使用しながら研修を受講できるように検討していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	適切に支援プログラムを作成しています。	支援プログラムは作成していますが、公表は2月にホームページ上で公表予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個々の子どものアセスメントを行い、ニーズや課題を分析し、放課後等デイサービス計画の作成をしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員の共通理解の下で子どもの最善の利益を考慮した検討を行い、放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたツールや日々の行動観察を含むインフォーマルなアセスメント（提供記録等）を使用し、確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの項目を適切に設定し、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		様々な意見等を出し合い、プログラム立案に努めております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しないように様々なプログラムを考え、活動できるように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動や集団活動を組み合わせた計画を作成し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には、必ずミーティングを実施し、チームで連携して支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			勤務時間の都合で、支援終了後の打ち合わせは、できていませんが、次の日のミーティングで前日の気付きや振り返りを行い、全員で共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援に関して記録し、検証・改善に生かせるように努めております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		組み合わせ支援しています。	
関係機関や保護者	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		日々の活動の中で、自己決定できる支援に努めております。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		子どもの状況を理解した者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の関係機関等と連携して支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報共有や連絡調整は、日々行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		モニタリング時などで、情報共有や相互理解に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		支援内容の情報を提供する等していません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			児童発達支援センターからの助言や研修を受ける等はしていない為、今後機会があれば、連携を図っていただけるように努めてまいります。

との連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		○		長期休暇時は児童クラブのお子様を利用しますが、児童館との交流はできていないため、今後は、保護者の方のニーズ等もお聞きしながら、交流を検討してまいります。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○		児童発達支援管理者が、参加しています。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○		毎日、保護者への報告や状況等は伝え合い、共通理解を持つことに努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		日々の面談や相談において、お子様のかかり方について、保護者と主に考えています。家族が参加できる研修や情報に関しては、玄関に書類を設置し、情報提供に努めていますが、ペアレント・トレーニングは行ってない為、今後は、家族支援プログラム等の内容等をお伝えできる様に努めてまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○		丁寧な説明に努めております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○		日々の活動時やモニタリング等において子どもやご家族の意向を確認し、放課後等デイサービス提供の作成に努めております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		○		同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○		相談があった時は、保護者の方と一緒に考え、適切に対応しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会等は設置していませんが、きょうだい同士と地域の人権擁護委員の方でプランナーの花植えをするなどの交流をしています。今後、保護者のニーズをお聞きし、交流ができればと考えています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		苦情解決の体制を整備し、窓口を設置しています。館内に内容を張り出し、苦情があった場合は、迅速にかつ適切な対応に努めております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		定期的に通信を発行し、写真で活動概要や連絡等の報告をしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		十分に気を付けています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		視覚カード等を利用して配慮に努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の行事(革細工)や講師を招いてダンス教室等を実施していますが、事業所の行事に住民を招待する等はできていない為、今後は地域に開かれた事業内容を検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		各マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるように玄関に設置してあります。また、火災や地震の訓練は、定期的に実施しています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		BCPを策定をし、火災・地震等の訓練をしています。

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に子どもの状況は、把握し、状況が変化した場合は、その都度保護者と確認し、全職員と共有しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用前には、医師からの指示書が家族に出されているため、家族が記入するサポートブックで確認をしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全確保の体制を整備しています。	不審者対応等の訓練ができていない為、今後は、訓練実施を検討していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づく内容を家族等にお知らせし、連携が図られるように努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを作成し、事業所内で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		県主催の研修会等に参加しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束マニュアルを法人で整備しています。	現在 該当する利用児はおりません。